

フェリス女学院大学学則

第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

第1条 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

第1条の2 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

第2条 本学に次の学部・学科を置く。

(1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科

(2) 音楽学部 音楽芸術学科 演奏学科

(3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

第2条の2 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

文学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

西洋音楽の根幹であるキリスト教音楽を基盤として、音楽の領域に関する高度の教育研究を行い、専門的な知識・能力・技術を持ち、かつ音楽界を多様に支える素養を兼ね備えた人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名	-	360名
	日本語日本文学科	90名	-	360名

	コミュニケーション学科	90名	-	360名
	計	270名	-	1,080名
音楽学部	音楽芸術学科	45名	-	180名
	演奏学科	30名	-	120名
	計	75名	-	300名
国際交流学部	国際交流学科	197名	4名	800名
合計		542名	4名	2,180名

(大学院)

第2条の4 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第3章 授業科目

(授業科目)

第3条 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、基礎教養科目、総合課題科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

第3条の2 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

第4条から第8条まで 削除

第4章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

第9条 本学の修業年限を4年とする。

(在学期間)

第9条の2 在学期間は、8年を超えることができない。

2 第25条の2に規定する2年次編入学者の在学期間は、6年を超えることができない。

3 第25条の3に規定する3年次編入学者の在学期間は、4年を超えることができない。

(履修希望科目の届出)

第10条 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

2 休学期間中は、履修希望科目の届出はできない。

3 留学期間中は、履修希望科目の届出はできない。ただし、留学を終了した学期に願い出た者について、この届出を許可することがある。必要な手続及び条件については、別に定める。

(他学部他学科専門科目の履修)

第11条 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

第12条 単位の認定は、平常点評価及び試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、

卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

第13条 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

第14条 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条の2 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

第14条の3 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

(1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績評価)

第15条 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

第16条 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定める。

第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(廃止科目等の取扱い)

第18条の2 第3条関係別表第1、別表第2及び別表第3に定める授業科目のほか、学生が既に履修した授業科目の科目名及び修得した単位数については、なおその効力を有する。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の3 外国人留学生については、第18条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

(1) 第3条の2に定める日本語科目 第18条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位

(2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位

2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなし、第2号に定める科目は基礎教養科目とみなす。

3 第1項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。

4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科	
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部	英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部	日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部	音楽芸術学科 演奏学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部	国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部	国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

第20条 第18条の規定により教授会の議を経て、卒業資格の認定を受けた者には、学長が卒業を決定し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

第21条 削除

第6章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

第22条の2 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

第23条 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日、土曜日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで

(6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで

(7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

第7章 入学、留学、休学、退学等

(入学時期)

第24条 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第25条 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26

年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(2年次編入学)

第25条の2 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への2年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可する。

(1) 大学を卒業した者

(2) 短期大学を卒業した者

(3) 大学又は短期大学に1年以上在学し、30単位以上を修得した者

(4) 高等専門学校を卒業した者

(5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(前条に規定する者に限る。)

(6) 外国において、学校教育における14年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者

2 第2条の3に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(3年次編入学)

第25条の3 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

(1) 大学を卒業した者

(2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者

(3) 高等専門学校を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第25条に規定する者に限る。)

(5) 外国において、学校教育における14年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(編入学資格における外国の学校教育制度に基づく教育施設の取扱い)

第25条の4 第25条の2第1項第1号及び前条第1項第1号に規定する大学を卒業した者には、我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者を含むものとする。

2 第25条の2第1項第3号及び前条第1項第2号に規定する大学には、我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限

る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

3 第25条の2第1項第3号に規定する短期大学には、我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含むものとする。

4 第25条の2第1項第2号及び前条第1項第2号に規定する短期大学を卒業した者には、外国の短期大学を卒業した者及び我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(第25条に規定する者に限る。)を含むものとする。

(入学の出願)

第26条 本学への入学を志願する者は、本学所定の入学願書その他書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに願出しなければならない。

(入学の選考)

第26条の2 入学志願者に対しては、学力検査等選考を行い、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が合格者を決定する。

2 選考の方法、時期については、教授会が定める。

(入学手続)

第26条の3 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、所定の学納金を納入しなければならない。

(宣誓)

第26条の4 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の宣誓をしなければならない。

2 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、次に掲げる書類を、指定の期日までに提出しなければならない。

(1) 保証人連署の誓約書

(2) 住民票記載事項証明願(本学所定)

(3) 出身高等学校等の卒業(修了)証明書

(4) その他必要な書類

(入学の決定)

第26条の5 学長は、前2条の手続を行った者について、入学を決定するものとする。

2 学長は、前2条の手続を行わない者の入学を取り消すことができる。

(保証人)

第27条 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。

2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責務を負うものとする。

3 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合又は保証人を変更しようとする場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

4 本学が保証人として不適当と認めるときは、その変更を命ずることができる。

(転居、改姓の届出)

第28条 学生又は保証人が転居、改姓したときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(留学)

第28条の2 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、許可を得て留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条の2に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第29条 病気その他やむを得ない理由により修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1年を区分として休学することができる。

2 校医の診断に基づき病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第29条の2 休学できる期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の2の在学期間に算入しない。

(出席停止)

第30条 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(出席停止期間)

第30条の2 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号)第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

第31条 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

第32条 削除

(退学)

第33条 退学しようとする者は、保証人連署の上、願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

第34条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

(1) 在学期間が8年を超えて卒業資格を得られない者

(2) 授業料等学納金の納入を怠った者

(3) 第29条の2第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者

(4) 死亡した者

(5) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

第34条の2 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、選考の上、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(学籍の異動に係る決定)

第34条の3 留学、休学、復学、転学、除籍及び再入学については、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第8章 授業料等学納金その他納入金

(入学検定料の納入)

第35条 本学への入学を願い出る者は、入学検定料を納入しなければならない。

2 入学検定料の額は、別表第6に定めるとおりとする。

3 本学への再入学を願い出る者の入学検定料の額は、別に定める。

4 入学検定料を減免することがある。減免に関し必要な事項は、別に定める。

(入学金、授業料等学納金の納入)

第36条 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入学年度前期分の授業料、実習費並びに施設設備費を納入しなければならない。

2 前項の額は、別表第7に定めるとおりとする。

3 第1項の規定に従って入学金及び授業料等学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに入学辞退を申し出た場合は、既に納めた授業料等学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還しない。

4 再入学の許可を受けた者の入学金及び授業料等学納金の額は、別に定める。

第36条の2 学生は、学期ごとに当該学期分の授業料、実習費及び施設設備費を、前期分については4月、後期分については10月に納入しなければならない。

2 学生は、入学した年度から4年間(2年次編入学生にあっては3年間、3年次編入学生にあっては2年間)施設設備費を納入しなければならない。

3 前2項の額は、授業料等学納金として別表第7に定めるとおりとする。

4 入学年度前期分の授業料、実習費及び施設設備費については、第1項の規定にかかわらず、入学手続時に納入するものとする。

5 再入学した学生の授業料等学納金の額は、別に定める。

(在籍料の納入)

第36条の3 休学する者は、休学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。ただし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。

2 前項の額は、休学する学期の所定の授業料及び実習費の2分の1に相当する額とする。

3 本学から外国の大学に留学する者は、留学期間中の授業料及び実習費の納入を免除される。た

だし、本学が定める期間内に、在籍料を納入しなければならない。

4 前項の額は、留学する学期の所定の授業料及び実習費に相当する額とする。

(納入の方法等)

第37条 前4条に定めるもののほか、授業料等学納金その他納入金の納入方法は、別に定める。

2 いったん納めた納入金は、別に定める場合を除き、返還しない。

第9章 教職員組織

(教職員組織)

第38条 本学に学長、副学長を置く。

2 本学に次の教職員を置く。

教授

准教授

講師

助教

助手

副手

事務職員

技能職員

3 学長、副学長及び教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるもののほか、別に定めるところによる。

第10章 教授会及び大学評議会

(教授会)

第39条 本学の各学部教授会を置き、各学部所属する専任教員をもって構成する。

2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第39条の2 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 削除

第40条 削除

第12章 図書館、研究施設及びセンター

(附属図書館)

第41条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属研究施設)

第42条 本学に附属の研究施設を置くことができる。

2 研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

第42条の2 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生

(科目等履修生)

第43条 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。

3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。

4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。

5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。

6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

第43条の2 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第44条 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

第44条の2 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 公開講座

(公開講座)

第45条 本学に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第15章 削除

第46条 削除

第16章 学内諸施設

(厚生施設)

第47条 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舍)

第48条 本学に寄宿舍を置くことができる。

2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

第 4 8 条の 2 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

第 4 9 条 前 3 条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

第 1 7 章 奨学金

(奨学金)

第 4 9 条の 2 本学に奨学金制度を設け、学業成績、人物ともに優秀な者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長が奨学金の授与を決定する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

第 1 8 章 賞罰

(表彰)

第 5 0 条 学生としての本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第 5 1 条 本学の学則及び訓育の趣旨に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生の処分に関し必要な事項は、別に定める。

(賞罰の決定)

第 5 1 条の 2 前 2 条に規定する賞罰は、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

第 1 9 章 雑則

(その他の事項)

第 5 2 条 この学則に定めるもののほか、本学の教育研究に関し必要な事項は、学長が決定する。

2 前項により決定した教育研究に関わる事項は、学長発信をもって大学教職員に周知するものとする。

(学則の改正)

第 5 3 条 この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会の承認を得て行うものとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度 学科	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
国際文化学科	80名	160名	240名

附 則

- 1 本学則は、1989年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、1988年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度 学部 学科	平成元年度	平成2年度	平成3年度
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

附 則

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のとおりとする。

附 則

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

附 則〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

附 則〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員

	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

附 則〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

附 則〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

附 則〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

附 則〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5 - 1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則（1992年4月1日施行）の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年2月27日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1998年2月26日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5 - 1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

附 則〔1999年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47
国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

附 則〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。

- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

附 則〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

附 則〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

附 則〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

附 則〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

附 則〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

附 則〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

附 則〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

附 則〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則〔2012年10月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

- 1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語 s(L L)」「ドイツ語 s(L L)」「スペイン語 s(L L)」「中国語 s(L L)」「朝鮮語 s(L L)」については、2003年4月1日から適用する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行し、2014年度入学試験から適用する。

附 則〔2014年3月27日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則〔2015年2月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2015年3月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

別表第1(第3条関係)

共通科目

()内は単位数

A 基礎教養科目

キリスト教	(2)	経済学入門A	(2)
哲学A	(2)	経済学入門B	(2)
哲学B	(2)	現代の経済問題	(2)
心理学	(2)	社会保障論	(2)
青年心理	(2)	マクロ経済学	(2)
現代教育学	(2)	ミクロ経済学	(2)
子ども・教育・保育	(2)	経営学入門A	(2)
論理学	(2)	経営学入門B	(2)
数的思考の初歩	(2)	現代企業論1	(2)
読み書きのスキル(文学系)	(2)	現代企業論2	(2)
読み書きのスキル(社会系)	(2)	ボランティア論	(2)
今年の一冊	(2)	ボランティア活動1	(1)
聞く話すのスキル	(2)	ボランティア活動2	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	ボランティア活動3	(6)
読書とメディア	(2)	文学(日本文学)	(2)
社会科学入門	(2)	文学(外国文学)	(2)
近現代史入門	(2)	音楽A	(2)
社会経済史	(2)	音楽B	(2)
社会学A	(2)	音楽実技A	(1)
社会学B	(2)	音楽実技B	(1)
マスコミュニケーション論A	(2)	美術芸術論	(2)
マスコミュニケーション論B	(2)	舞台芸術入門	(2)
現代における法学入門	(2)	科学技術入門	(2)
民法(家族法A)	(2)	数学の基礎	(2)
民法(家族法B)	(2)	統計の基礎	(2)
日本国憲法	(2)	環境学入門	(2)
商法・会社法	(2)	生き物との共生	(2)
消費者関連法A	(2)	情報科学	(2)
消費者関連法B	(2)	情報リテラシー	(2)
行政学A	(2)	健康科学	(2)
行政学B	(2)	健康・スポーツ	(1)

B 総合課題科目

キリスト教	(2)	キャリア実習(短期インターンシップ)	(1)
キリスト教	(2)	キャリア実習(長期インターンシップ)	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)	転換の時代を生きる	(2)
女性	(2)	環境と人間	(2)
他者との共生: For Others	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
キャリア形成の理解	(2)	学びの世界を広げる	(2)
キャリア系の知識を深める	(2)	新たな学びの世界への招待	(2)
社会人基礎力の修得と実践	(2)		

C 語学科目

英語 s(読む・書く)	(1)	英語 i(Language Development)	(1)
英語 s(聞く・話す)	(1)	英語 i(講読)	(1)
英語 i(Reading)	(1)	英語 s(読む・書く)	(1)
英語 i(Writing)	(1)	英語 s(聞く・話す)	(1)
英語 i(Listening)	(1)	英語 i(Reading)	(1)
英語 i(Speaking)	(1)	英語 i(Writing)	(1)
英語 i(Presentation)	(1)	英語 i(Listening)	(1)

英語	i (Speaking)	(1)	英語e (TOEIC Preparation)	(1)
英語	i (Language Development)	(1)	英語e (Vocabulary:Basic)	(1)
英語	s (読む・書く)	(1)	英語e (Vocabulary)	(1)
英語	s (聞く・話す)	(1)	英語e (World Englishes:Advanced)	(1)
英語	i (Reading)	(1)	英語e (Writing Skills)	(1)
英語	i (Writing)	(1)	フランス語 (入門)	(1)
英語	i (Listening)	(1)	フランス語 i (文法)	(3)
英語	i (Speaking)	(1)	フランス語 i (読む1)	(1)
英語	i (Language Development)	(1)	フランス語 i (読む2)	(1)
英語	i (講読)	(1)	フランス語 i (LL)	(1)
英語	s (読む・書く)	(1)	フランス語 s (文法)	(1)
英語	s (聞く・話す)	(1)	フランス語 s (読む)	(1)
英語	i (Reading)	(1)	フランス語 s (LL)	(1)
英語	i (Speaking)	(1)	フランス語 i (文法)	(2)
英語e (Academic Listening)	(1)		フランス語 i (読む)	(1)
英語e (Academic Reading)	(1)		フランス語 i (話す)	(1)
英語e (Academic Reading:Advanced)	(1)		フランス語 i (書く)	(1)
英語e (Business Communication)	(1)		フランス語 i (LL)	(1)
英語e (Conversation Skills:Basic)	(1)		フランス語 s (文法)	(1)
英語e (Conversation Skills)	(1)		フランス語 s (読む)	(1)
英語e (Conversation Skills:Advanced)	(1)		フランス語 s (話す)	(1)
英語e (Creative Writing)	(1)		フランス語 s (LL)	(1)
英語e (Debating Culture)	(1)		フランス語 i (読む1)	(1)
英語e (Discussion and Debate)	(1)		フランス語 i (読む2)	(1)
英語e (English through Drama)	(1)		フランス語 i (話す)	(1)
英語e (English through Movies: Basic)	(1)		フランス語 i (書く)	(1)
英語e (English through Movies)	(1)		フランス語 i (LL)	(1)
英語e (English through Music:Basic)	(1)		フランス語 s (読む)	(1)
英語e (Grammar:Basic)	(1)		フランス語 s (話す)	(1)
英語e (News and Views)	(1)		フランス語 s (LL)	(1)
英語e (News and Views: Advanced)	(1)		フランス語 i (読む)	(1)
英語e (Pronunciation: Basic)	(1)		フランス語 i (話す)	(1)
英語e (Pronunciation)	(1)		フランス語 i (書く)	(1)
英語e (Public Speaking)	(1)		フランス語 i (LL)	(1)
英語e (Reading Fantasy:Basic)	(1)		フランス語 i (読む)	(1)
英語e (Reading Fiction)	(1)		フランス語 i (話す)	(1)
英語e (Reading Literature) A	(1)		フランス語 i (書く)	(1)
英語e (Reading Literature) B	(1)		フランス語 i (LL)	(1)
英語e (Reading Poetry)	(1)		海外語学実習 (フランス語)	(2)
英語e (Speech and Debate)	(1)		ドイツ語 (入門)	(1)
英語e (TOEFL- iBT Preparation)	(1)		ドイツ語 (文法)	(1)
英語e (TOEFL- iBT Preparation)	(1)		ドイツ語 (読む)	(1)
英語e (TOEFL- iBT Preparation : Listening/Speaking)	(1)		ドイツ語 i (文法)	(3)
英語e (TOEFL- iBT Preparation : Reading/Writing)	(1)		ドイツ語 i (読む1)	(1)
英語e (TOEFL- iBT Preparation)	(1)		ドイツ語 i (読む2)	(1)
英語e (TOEIC Preparation)	(1)		ドイツ語 i (LL)	(1)
英語e (TOEIC Preparation)	(1)		ドイツ語 s (文法)	(1)
英語e (TOEIC Preparation : Listening)	(1)		ドイツ語 s (読む)	(1)
英語e (TOEIC Preparation : Reading)	(1)		ドイツ語 s (LL)	(1)
			ドイツ語 i (文法)	(2)
			ドイツ語 i (読む)	(1)

ドイツ語	i (話す)	(1)	スペイン語	i (書く)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	スペイン語	i (LL)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	スペイン語	i (読む)	(1)
ドイツ語	s (文法)	(1)	スペイン語	i (話す)	(1)
ドイツ語	s (読む)	(1)	スペイン語	i (書く)	(1)
ドイツ語	s (話す)	(1)	スペイン語	i (LL)	(1)
ドイツ語	s (LL)	(1)	海外語学実習 (スペイン語)		(2)
ドイツ語	i (読む1)	(1)	中国語	(入門)	(1)
ドイツ語	i (読む2)	(1)	中国語	i (文法)	(3)
ドイツ語	i (話す)	(1)	中国語	i (読む1)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	中国語	i (読む2)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
ドイツ語	s (読む)	(1)	中国語	s (文法)	(1)
ドイツ語	s (話す)	(1)	中国語	s (読む)	(1)
ドイツ語	s (LL)	(1)	中国語	s (LL)	(1)
ドイツ語	i (読む)	(1)	中国語	i (文法)	(2)
ドイツ語	i (話す)	(1)	中国語	i (読む)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
ドイツ語	i (読む)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
ドイツ語	i (話す)	(1)	中国語	s (文法)	(1)
ドイツ語	i (書く)	(1)	中国語	s (読む)	(1)
ドイツ語	i (LL)	(1)	中国語	s (話す)	(1)
海外語学実習 (ドイツ語)		(2)	中国語	s (LL)	(1)
スペイン語	(入門)	(1)	中国語	i (読む1)	(1)
スペイン語	i (文法)	(3)	中国語	i (読む2)	(1)
スペイン語	i (読む1)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (読む2)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	s (文法)	(1)	中国語	s (読む)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	中国語	s (話す)	(1)
スペイン語	s (LL)	(1)	中国語	s (LL)	(1)
スペイン語	i (文法)	(2)	中国語	i (読む)	(1)
スペイン語	i (読む)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	i (話す)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	中国語	i (読む)	(1)
スペイン語	s (文法)	(1)	中国語	i (話す)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	中国語	i (書く)	(1)
スペイン語	s (話す)	(1)	中国語	i (LL)	(1)
スペイン語	s (LL)	(1)	海外語学実習 (中国語)		(2)
スペイン語	i (読む1)	(1)	朝鮮語	(入門)	(1)
スペイン語	i (読む2)	(1)	朝鮮語	i (文法)	(3)
スペイン語	i (話す)	(1)	朝鮮語	i (読む1)	(1)
スペイン語	i (書く)	(1)	朝鮮語	i (読む2)	(1)
スペイン語	i (LL)	(1)	朝鮮語	i (LL)	(1)
スペイン語	s (読む)	(1)	朝鮮語	s (文法)	(1)
スペイン語	s (話す)	(1)	朝鮮語	s (読む)	(1)
スペイン語	s (LL)	(1)	朝鮮語	s (LL)	(1)
スペイン語	i (読む)	(1)	朝鮮語	i (文法)	(2)
スペイン語	i (話す)	(1)	朝鮮語	i (読む)	(1)

朝鮮語	i (話す)	(1)	朝鮮語	i (読む)	(1)
朝鮮語	i (書く)	(1)	朝鮮語	i (話す)	(1)
朝鮮語	i (LL)	(1)	朝鮮語	i (書く)	(1)
朝鮮語	s (文法)	(1)	朝鮮語	i (LL)	(1)
朝鮮語	s (読む)	(1)	海外語学実習 (朝鮮語)		(2)
朝鮮語	s (話す)	(1)	古典ギリシア語 (文法)		(1)
朝鮮語	s (LL)	(1)	古典ギリシア語 (文法)		(1)
朝鮮語	i (読む1)	(1)	古典ギリシア語 (読む)		(1)
朝鮮語	i (読む2)	(1)	古典ギリシア語 (読む)		(1)
朝鮮語	i (話す)	(1)	ラテン語 (文法)		(1)
朝鮮語	i (書く)	(1)	ラテン語 (文法)		(1)
朝鮮語	i (LL)	(1)	ラテン語 (読む)		(1)
朝鮮語	s (読む)	(1)	ラテン語 (読む)		(1)
朝鮮語	s (話す)	(1)	イタリア語 (文法)		(1)
朝鮮語	s (LL)	(1)	イタリア語 (読む)		(1)
朝鮮語	i (読む)	(1)	イタリア語 (文法)		(1)
朝鮮語	i (話す)	(1)	イタリア語 (読む)		(1)
朝鮮語	i (書く)	(1)	日本語		(1)
朝鮮語	i (LL)	(1)	日本語		(1)

別表第2 (第3条関係)

専門科目

()内は単位数

A 文学部英文学科

2004~2013年度入学者

文学部英語英米文学科

2014年度入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	イギリス史A	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	イギリス史B	(2)
イギリス研究入門1	(2)	イギリス史3	(2)
イギリス研究入門2	(2)	イギリスの政治と社会A	(2)
イギリス研究入門3	(2)	イギリスの政治と社会B	(2)
イギリス研究入門4	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
イギリス研究入門5	(2)	イギリス文化論総説A	(2)
アメリカ研究入門1	(2)	現代イギリス論	(2)
アメリカ研究入門2	(2)	アメリカ史1	(2)
アメリカ研究入門3	(2)	アメリカ史2	(2)
アメリカ研究入門4	(2)	アメリカの政治と社会A	(2)
英語学研究入門1	(2)	アメリカの政治と社会B	(2)
英語学研究入門2	(2)	アメリカの思想・宗教A	(2)
英米文化専門講読1	(2)	アメリカの文化	(2)
英米文化専門講読2	(2)	現代アメリカ論1	(2)
英米文化専門講読3	(2)	現代アメリカ論2	(2)
英米文化専門講読4	(2)	カナダの政治と社会	(4)
英米文化専門講読5	(2)	オーストラリア地域文化研究A	(2)
英米文化専門講読6	(2)	オーストラリア地域文化研究B	(2)
英米文化専門講読7	(2)	イギリス文学史1 (詩)	(2)
英米文化専門講読8	(2)	イギリス文学史2 (劇)	(2)
英米文化専門講読9	(2)	イギリス文学史3 (小説)	(2)
英米文化専門講読10	(2)	イギリス詩1	(2)
英米文化専門講読11	(2)	イギリス詩2	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	イギリス詩3	(2)

イギリス演劇 1	(2)	翻訳技法 B	(2)
イギリス演劇 2	(2)	通訳技法 A	(2)
イギリス演劇 3	(2)	通訳技法 B	(2)
イギリス小説 1	(2)	同時通訳技法 A	(2)
イギリス小説 2	(2)	同時通訳技法 B	(2)
イギリス小説 3	(2)	Academic Writing 1	(2)
フォークロアの世界 A	(2)	Academic Writing 2	(2)
フォークロアの世界 B	(2)	Global Issues 1	(2)
イギリス伝承文学 3	(2)	Global Issues 2	(2)
イギリス伝承文学 4	(2)	Business Communication 1	(2)
イギリス文化史	(2)	Business Communication 2	(2)
英語圏の文学と芸術 A	(2)	The English-Speaking World A	(2)
英語圏の文学と芸術 B	(2)	The English-Speaking World B	(2)
アメリカ文学史	(2)	English for Kids A	(2)
アメリカ詩 1	(2)	English for Kids B	(2)
アメリカ詩 2	(2)	Focus on Listening and Reading 1	(2)
アメリカ演劇の世界 A	(2)	Focus on Listening and Reading 2	(2)
アメリカ演劇の世界 B	(2)	Writing Workshop 1	(2)
アメリカ小説 1	(2)	Writing Workshop 2	(2)
アメリカ小説 2	(2)	Academic Skills 1	(2)
キリスト教と英米文学 1	(2)	Academic Skills 2	(2)
キリスト教と英米文学 2	(2)	英語集中セミナー 1	(1)
英語圏文学 B	(2)	英語集中セミナー 2	(1)
英米文化特論 2	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
英米文化特論 3	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
英米文化特論 4	(2)	古典と表象文化 A	(2)
英米文化特論 5	(2)	古典と表象文化 B	(2)
英米文化特論 6	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
英米芸術史	(2)	テキスト生成と批評 B	(2)
英語圏の映画と映像 A	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
英語圏の映画と映像 B	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
英語圏の映画と映像 3	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
英語圏の映画と映像 4	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)
英語の歴史 A	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
英語の歴史 B	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
英語学 1	(2)	児童文学論 A	(2)
英語学 2	(2)	児童文学論 B	(2)
English Linguistics 1	(2)	キリスト教と文学	(2)
English Linguistics 2	(2)	文学部とキャリア	(2)
英語と社会・文化	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
英語と社会・文化 2	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
日英語の発想と表現	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
Thought and Expression in English	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
英語学特論	(2)	卒業論文	(6)
英語学特論 2	(2)	イギリス現地実習	(2)
英語の発音 A	(2)	アメリカ現地実習	(2)
英語の発音 B	(2)	フィールド・スタディ 1	(1)
翻訳技法 A	(2)	フィールド・スタディ 2	(1)

2015年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	現代アメリカ論 2	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	カナダの社会と文化	(4)
イギリス研究入門 1	(2)	オーストラリアの社会と文化 1	(2)
イギリス研究入門 2	(2)	オーストラリアの社会と文化 2	(2)
イギリス研究入門 3	(2)	イギリス文学史 1 (詩)	(2)
イギリス研究入門 4	(2)	イギリス文学史 2 (劇)	(2)
イギリス研究入門 5	(2)	イギリス文学史 3 (小説)	(2)
アメリカ研究入門 1	(2)	イギリス詩 1	(2)
アメリカ研究入門 2	(2)	イギリス詩 2	(2)
アメリカ研究入門 3	(2)	イギリス詩 3	(2)
アメリカ研究入門 4	(2)	イギリス演劇 1	(2)
英語学研究入門 1	(2)	イギリス演劇 2	(2)
英語学研究入門 2	(2)	イギリス演劇 3	(2)
英米文化専門講読 1	(2)	イギリス小説 1	(2)
英米文化専門講読 2	(2)	イギリス小説 2	(2)
英米文化専門講読 3	(2)	イギリス小説 3	(2)
英米文化専門講読 4	(2)	イギリス伝承文学 1	(2)
英米文化専門講読 5	(2)	イギリス伝承文学 2	(2)
英米文化専門講読 6	(2)	イギリス伝承文学 3	(2)
英米文化専門講読 7	(2)	イギリス伝承文学 4	(2)
英米文化専門講読 8	(2)	イギリス文化史	(2)
英米文化専門講読 9	(2)	イギリスの文化と芸術 1	(2)
英米文化専門講読 10	(2)	イギリスの文化と芸術 2	(2)
英米文化専門講読 11	(2)	アメリカ文学史	(2)
Academic Writing 1	(2)	アメリカ詩 1	(2)
Academic Writing 2	(2)	アメリカ詩 2	(2)
Global Issues 1	(2)	アメリカ演劇 1	(2)
Global Issues 2	(2)	アメリカ演劇 2	(2)
Business Communication 1	(2)	アメリカ小説 1	(2)
Business Communication 2	(2)	アメリカ小説 2	(2)
Literature and Culture 1	(2)	キリスト教と英米文学 1	(2)
Literature and Culture 2	(2)	キリスト教と英米文学 2	(2)
English for Children 1	(2)	英米文化特論 1	(2)
English for Children 2	(2)	英米文化特論 2	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	英米文化特論 3	(2)
イギリス史 1	(2)	英米文化特論 4	(2)
イギリス史 2	(2)	英米文化特論 5	(2)
イギリス史 3	(2)	英米文化特論 6	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)	英米芸術史	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)	英語圏の映画と映像 1	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	英語圏の映画と映像 2	(2)
イギリスの文化	(2)	英語圏の映画と映像 3	(2)
現代イギリス論	(2)	英語圏の映画と映像 4	(2)
アメリカ史 1	(2)	英語の歴史 1	(2)
アメリカ史 2	(2)	英語の歴史 2	(2)
アメリカの政治と社会 1	(2)	英語学 1	(2)
アメリカの政治と社会 2	(2)	英語学 2	(2)
アメリカの思想と宗教	(2)	English Linguistics 1	(2)
アメリカの文化	(2)	English Linguistics 2	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	英語と社会・文化 1	(2)

英語と社会・文化 2	(2)	古典と表象文化 A	(2)
日英語の発想と表現	(2)	古典と表象文化 B	(2)
Thought and Expression in English	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
英語学特論 1	(2)	テキスト生成と批評 B	(2)
英語学特論 2	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
英語の発音 1	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
英語の発音 2	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
翻訳技法 1	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)
翻訳技法 2	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
通訳技法 1	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
通訳技法 2	(2)	児童文学論 A	(2)
同時通訳技法 1	(2)	児童文学論 B	(2)
同時通訳技法 2	(2)	キリスト教と文学	(2)
Focus on Listening and Reading 1	(2)	文学部とキャリア	(2)
Focus on Listening and Reading 2	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
Writing Workshop 1	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
Writing Workshop 2	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
Academic Skills 1	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
Academic Skills 2	(2)	卒業論文	(6)
英語集中セミナー 1	(1)	Summer Abroad (UK)	(2)
英語集中セミナー 2	(1)	Summer Abroad (US)	(2)
カルチュラルスタディーズ A	(2)	Field Study 1	(1)
カルチュラルスタディーズ B	(2)	Field Study 2	(1)

B 文学部日本文学科
2012～2013年度入学者
文学部日本語日本文学科
2014年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	日本語教育資料を読む	(4)
日本語文化基礎ゼミ	(1)	古典文学を読む 1	(4)
日本語学概論 A	(2)	古典文学を読む 2	(4)
日本語学概論 B	(2)	古典文学を読む 3	(4)
日本語の歴史 A	(2)	古典文学を読む 4	(4)
日本語の歴史 B	(2)	近現代文学を読む 1	(4)
日本古典文学史 1	(2)	近現代文学を読む 2	(4)
日本古典文学史 2	(2)	中国文学を読む	(4)
日本古典文学史 3	(2)	日本語文法研究の方法	(2)
日本古典文学史 4	(2)	日本語語彙研究の方法	(2)
日本近代文学史 A	(2)	日本語音声研究の方法	(2)
日本近代文学史 B	(2)	方言研究の方法	(2)
漢文学概説 A	(2)	日本語教育研究の方法	(2)
漢文学概説 B	(2)	上代文学研究の方法	(2)
言語学概説	(2)	中古文学研究の方法	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	中世文学研究の方法	(2)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	近世文学研究の方法	(2)
古典読解の基礎	(2)	近現代文学研究の方法	(2)
漢文読解の基礎	(2)	キリスト教と日本文学	(2)
文学理論の基礎	(2)	日本語の形態と構文	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
日本史の基礎 (近現代)	(2)	日本語の音声とアクセント	(2)
日本語資料を読む	(4)	日本語の文体と語法	(2)

日本の漢字と国語辞書	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
日本語の敬語	(2)	俳句創作を学ぶ	(2)
神話の世界	(2)	報道文を学ぶ	(2)
説話の世界	(2)	編集を学ぶ	(2)
古代和歌の世界	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
物語の世界	(2)	日本語教育学概論 A	(2)
日記の世界	(2)	日本語教育学概論 B	(2)
随筆の世界	(2)	日本語教育の教材分析 A	(2)
中世和歌の世界	(2)	日本語教育の教材分析 B	(2)
軍記の世界	(2)	日本語学習のコースデザイン	(2)
俳諧の世界	(2)	日本語教育評価法	(2)
近世小説の世界	(2)	第二言語習得論	(2)
近代小説の世界	(2)	日本語教育のための異文化理解	(2)
現代小説の世界	(2)	日本語教授法 A	(2)
近現代詩歌の世界	(2)	日本語教授法 B	(2)
同時代文学の世界	(2)	日本語教育実習 1	(1)
能・狂言の世界	(2)	日本語教育実習 2	(2)
歌舞伎の世界	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
浄瑠璃の世界	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
近現代演劇の世界	(2)	古典と表象文化 A	(2)
漢字の世界 1	(2)	古典と表象文化 B	(2)
漢字の世界 2	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
漢詩漢文の世界 1	(2)	テキスト生成と批評 B	(2)
漢詩漢文の世界 2	(2)	ポピュラーカルチャー A	(2)
日中比較言語・文学の世界	(2)	ポピュラーカルチャー B	(2)
書道芸術の世界	(2)	声の文化と文字の文化 A	(2)
言語と文化	(2)	声の文化と文字の文化 B	(2)
方言と社会言語学	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)
コンピュータと言語学	(2)	ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)
文学と子ども	(2)	児童文学論 A	(2)
文字と文学	(2)	児童文学論 B	(2)
文学と都市空間	(2)	キリスト教と文学	(2)
地域文化を読み解く	(2)	文学部とキャリア	(2)
民俗文化を読み解く	(2)	日本言語文化専門ゼミ A	(1)
絵巻・絵図を読み解く	(2)	日本言語文化専門ゼミ B	(1)
マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)	日本言語文化卒論ゼミ A	(1)
映画・映像を読み解く	(2)	日本言語文化卒論ゼミ B	(1)
日本伝統文化を学ぶ	(2)	卒業論文	(6)
国際日本文学研究を学ぶ	(2)	書道 A	(1)
小説創作を学ぶ	(2)	書道 B	(1)
短歌創作を学ぶ	(2)		

C 文学部コミュニケーション学科

R & R(入門ゼミ)	(1)	コミュニケーション研究方法の全体像	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	実験の研究計画をたてる	(2)
言語コミュニケーション概論	(2)	アンケート・社会調査の方法	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)	インタビュー・面接のスキル	(2)
文化コミュニケーション概論	(2)	話しことばを分析する	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)	文献・情報の集め方	(2)
コミュニケーション概論 A	(2)	データを数量から読み解く	(2)
コミュニケーション概論 B	(2)	フィールドワークとエスノグラフィー	(2)

フィールドワークとライフヒストリー分析を学ぶ	(2)	P T S Dと被害者のグリーフワーク	(2)
コミュニケーション学探求 1	(2)	ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)
コミュニケーション学探求 2	(2)	障害者の心理学と共生社会	(2)
コミュニケーション学探求 3	(2)	エイジングの心理学と高齢社会	(2)
コミュニケーション学探求 4	(2)	「日本におけるアジア」とのネットワーキング	(2)
コミュニケーション学探求 5	(2)	ファシリテーターの理論と実践 A	(2)
コミュニケーション学探求 6	(2)	ファシリテーターの理論と実践 B	(2)
コミュニケーション学探求 7	(2)	視覚障害の理解と点字の技法 A	(2)
コミュニケーション学探求 8	(2)	視覚障害の理解と点字の技法 B	(2)
コミュニケーション学探求 1 0	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法 A	(2)
コミュニケーション学探求 1 1	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法 B	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(2)	共生のフィールドワーク	(4)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)	放送文化と制度を考える	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
組織の中の人間関係	(2)	マルチメディアの現在と未来	(2)
身体としぐさの心理学	(2)	テキスト分析と物語構造分析を学ぶ	(2)
英語コミュニケーション学概説	(2)	日本語コミュニケーション:意味と語彙	(2)
日本語コミュニケーション学概説 A	(2)	日本語敬語コミュニケーション	(2)
日本語コミュニケーション学概説 B	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
日本語コミュニケーションの歴史 A	(2)	コンピュータによる調査データの解析 A	(2)
日本語コミュニケーションの歴史 B	(2)	コンピュータによる調査データの解析 B	(2)
文体と語法の日本語コミュニケーション学(2)		文献・情報にアクセスする	(2)
形態と構文の日本語コミュニケーション学(2)		映像取材 A	(2)
日本語文法論とコミュニケーション	(2)	映像取材 B	(2)
日本語音声とコミュニケーション	(2)	マルチメディア制作 (CG・DTP編集) A	(2)
歴史言語コミュニケーション概説	(2)	マルチメディア制作 (CG・DTP編集) B	(2)
多文化・多言語社会を考える	(2)	マルチメディア制作 (情報デザイン) A	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	マルチメディア制作 (情報デザイン) B	(2)
先住民族の言語・文化と共生	(2)	プレゼンテーションの方法 A	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)	プレゼンテーションの方法 B	(2)
第二言語習得の英語コミュニケーション学(2)		取材と記事のレッスン	(2)
異文化のコミュニケーション	(2)	編集デザインスキル	(2)
文化の心理学	(2)	ディベートと自己主張	(2)
これからの多文化教育	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	コミュニケーションスキルトレーニングの技法	(2)
多文化社会の人間学	(2)	身体表現論	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク(2)		ファッション文化	(2)
異文化トレーニング	(2)	スポーツ文化	(2)
ディアスポラ(離散)の思想	(2)	現代人と宗教	(2)
ことばのフィールドワーク	(2)	映画・映像文化	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考える A(2)		広告とマーケティング	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考える B(2)		社会・文化と英語コミュニケーション	(2)
舞踊の文化人類学	(2)	カルチュラルスタディーズ A	(2)
グローバル化する人の移動の社会学	(2)	カルチュラルスタディーズ B	(2)
子どもの発達とこれからの教育問題	(2)	古典と表象文化 A	(2)
これからの家族問題 A	(2)	古典と表象文化 B	(2)
これからの家族問題 B	(2)	テキスト生成と批評 A	(2)
健康・医療におけるコミュニケーションの問題(2)		テキスト生成と批評 B	(2)
H I V・難病問題と向き合う	(2)		

ポピュラーカルチャー A	(2)	キリスト教と文学	(2)
ポピュラーカルチャー B	(2)	文学部とキャリア	(2)
声の文化と文字の文化 A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ A	(1)
声の文化と文字の文化 B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ B	(1)
ジェンダー・フェミニズム批評 A	(2)	コミュニケーション専門ゼミ A	(1)
ジェンダー・フェミニズム批評 B	(2)	コミュニケーション専門ゼミ B	(1)
児童文学論 A	(2)	卒業論文・卒業制作	(6)
児童文学論 B	(2)		

D 音楽学部音楽芸術学科

2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	キリスト教音楽概論 1	(2)
音楽基礎理論	(2)	キリスト教音楽概論 2	(2)
合唱 A	(1)	西洋音楽通史	(4)
合唱 B	(1)	日本音楽通史	(4)
基礎声楽 A	(1)	西洋音楽史特殊講義 1	(2)
基礎声楽 B	(1)	西洋音楽史特殊講義 2	(2)
基礎ピアノ A	(1)	日本音楽史特殊講義	(2)
基礎ピアノ B	(1)	ポピュラー音楽史	(2)
和声 A	(2)	映画・舞台音楽論 1	(2)
和声 B	(2)	映画・舞台音楽論 2	(2)
ソルフェージュ 1	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
ソルフェージュ 2	(1)	音楽社会学	(2)
ソルフェージュ 3	(1)	楽器法	(2)
ソルフェージュ 4	(1)	諸民族の音楽 A	(2)
ソルフェージュ A	(1)	諸民族の音楽 B	(2)
ソルフェージュ B	(1)	対位法の魅力	(2)
ソルフェージュ A	(1)	音楽情報論	(2)
ソルフェージュ B	(1)	音楽ジャーナリズム	(2)
賛美歌学	(2)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
キリスト教オルガン音楽概論	(2)	訳詞の世界	(2)
キリスト教オルガン実技	(1)	作曲を楽しもう A	(2)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	作曲を楽しもう B	(2)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	ポップスを楽しもう	(2)
和声 A	(2)	バンドを楽しもう	(2)
和声 B	(2)	作・編曲法 A	(2)
作品分析	(2)	作・編曲法 B	(2)
ジャズ・ポップス入門	(2)	メディア・アート	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	コンピュータ音楽制作	(2)
共演芸術 A	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
共演芸術 B	(2)	アート・マネージメント	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	環境音楽デザイン	(2)
ジャズ・ポップス実践ワークショップ	(2)	舞台制作ワークショップ	(2)
合奏 A	(1)	身体表現ワークショップ 1	(2)
合奏 B	(1)	身体表現ワークショップ 2	(2)
伴奏法 A	(1)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
伴奏法 B	(1)	番組制作ワークショップ	(2)
邦楽 1	(1)	音響機器ワークショップ	(2)
邦楽 2	(1)	録音実技ワークショップ	(2)
合唱 A	(1)	アナウンス・朗読	(2)
合唱 B	(1)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)

日本歌曲・童謡を歌う	(1)	専門ゼミ	(1)
コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)	専門ゼミ	(1)
コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)	専門ゼミ	(1)
指揮法A	(2)	専門ゼミ	(1)
医療と音楽1	(2)	学外公開発表	(1)
医療と音楽2	(2)	学外公開発表	(1)
心と音楽1	(2)	海外音楽研修	(2)
心と音楽2	(2)	卒業プロジェクト	(6)

2011年度以降入学者

音楽家の基礎知識	(2)	邦楽2	(1)
音楽基礎理論	(2)	編曲のテクニック	(2)
合唱 A	(1)	西洋音楽通史	(4)
合唱 B	(1)	日本音楽通史	(4)
基礎声楽A	(1)	音楽社会学	(2)
基礎声楽B	(1)	諸民族の音楽A	(2)
基礎ピアノA	(1)	諸民族の音楽B	(2)
基礎ピアノB	(1)	西洋音楽史特殊講義1	(2)
教職のためのピアノA	(1)	西洋音楽史特殊講義2	(2)
教職のためのピアノB	(1)	日本音楽史特殊講義	(2)
和声 A	(2)	ポピュラー音楽史	(2)
和声 B	(2)	映画・舞台音楽論1	(2)
ソルフェージュ1	(1)	映画・舞台音楽論2	(2)
ソルフェージュ2	(1)	現代音楽レパトリー	(2)
ソルフェージュ3	(1)	楽器法	(2)
ソルフェージュ4	(1)	音楽情報論	(2)
ソルフェージュ A	(1)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
ソルフェージュ B	(1)	メディア・アート	(2)
ソルフェージュ A	(1)	コンピュータ音楽制作1	(2)
ソルフェージュ B	(1)	コンピュータ音楽制作2	(2)
賛美歌学	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
キリスト教音楽概論1	(2)	アート・マネジメント	(2)
キリスト教音楽概論2	(2)	環境音楽デザイン	(2)
キリスト教音楽基礎	(2)	舞台制作ワークショップ	(2)
キリスト教音楽実践	(2)	身体表現ワークショップ1	(2)
和声 A	(2)	身体表現ワークショップ2	(2)
和声 B	(2)	映像音楽制作ワークショップ	(2)
伴奏法A	(1)	番組制作ワークショップ	(2)
伴奏法B	(1)	音響機器ワークショップ	(2)
ジャズ・ポップス入門	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
対位法A	(2)	アナウンス・朗読	(2)
対位法B	(2)	ミュージカル・ナンバーを歌う	(1)
共演芸術A	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
共演芸術B	(2)	作曲を楽しもうA	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	作曲を楽しもうB	(2)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	ポップスを楽しもう	(2)
合唱 A	(1)	バンドを楽しもう	(2)
合唱 B	(1)	アンサンブルを楽しもう	(2)
作品分析	(2)	作・編曲法	(2)
ポピュラー音楽理論	(2)	コーラス・リーダー・ワークショップA	(2)
邦楽1	(1)	コーラス・リーダー・ワークショップB	(2)

合奏	(1)	応用演習	(1)
指揮法 A	(2)	専門ゼミ	(1)
指揮法 B	(2)	専門ゼミ	(1)
音楽ジャーナリズム	(2)	専門ゼミ	(1)
訳詞の世界	(2)	専門ゼミ	(1)
医療と音楽	(2)	学外公開発表	(1)
心と音楽	(2)	学外公開発表	(1)
音楽療法 1	(2)	海外音楽研修	(2)
音楽療法 2	(2)	卒業プロジェクト	(6)
基礎演習	(1)		

E 音楽学部演奏学科

2008・2009・2010年度入学者

音楽家の基礎知識	(2)	第2副科実技(声楽) B	(2)
音楽基礎理論	(2)	第2副科実技(器楽) A	(2)
合唱 A	(1)	第2副科実技(器楽) B	(2)
合唱 B	(1)	第2副科実技(作曲) A	(2)
和声 A	(2)	第2副科実技(作曲) B	(2)
和声 B	(2)	第2副科実技(バレエ) A	(1)
ソルフェージュ 1	(1)	第2副科実技(バレエ) B	(1)
ソルフェージュ 2	(1)	イタリア語歌唱法 A	(1)
ソルフェージュ 3	(1)	イタリア語歌唱法 B	(1)
ソルフェージュ 4	(1)	ドイツ語歌唱法 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	ドイツ語歌唱法 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	フランス語歌唱法	(1)
ソルフェージュ A	(1)	英語歌唱法	(1)
ソルフェージュ B	(1)	日本語歌唱法 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	日本語歌唱法 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	声楽レパートリー 1 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	声楽レパートリー 1 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	声楽レパートリー 2 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	声楽レパートリー 2 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	室内楽 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	室内楽 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	室内楽 A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	室内楽 B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	ブラスアンサンブル A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	ブラスアンサンブル B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	管弦アンサンブル A	(2)
キリスト教オルガン実践基礎	(1)	管弦アンサンブル B	(2)
キリスト教オルガン実践応用	(1)	弦楽アンサンブル A	(2)
キリスト教オルガン研究基礎	(2)	弦楽アンサンブル B	(2)
キリスト教オルガン研究応用	(2)	フルートアンサンブル A	(1)
和声 A	(2)	フルートアンサンブル B	(1)
和声 B	(2)	管楽アンサンブル A	(2)
音楽様式研究	(2)	管楽アンサンブル B	(2)
副科実技(声楽) A	(1)	弦楽レパートリー A	(2)
副科実技(声楽) B	(1)	弦楽レパートリー B	(2)
副科実技(器楽) A	(1)	管楽レパートリー A	(2)
副科実技(器楽) B	(1)	管楽レパートリー B	(2)
第2副科実技(声楽) A	(2)	ピアノ・デュオ A	(1)

ピアノ・デュオ B	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
オペラ・アンサンブル A	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
オペラ・アンサンブル B	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
声楽アンサンブル A	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
声楽アンサンブル B	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
オラトリオ研究 A	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
オラトリオ研究 B	(1)	専攻実技 (声楽)	(3)
通奏低音	(2)	専攻実技 (声楽)	(3)
キーボードハーモニー A	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
キーボードハーモニー B	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
楽曲分析 A	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
楽曲分析 B	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
共演芸術 A	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
共演芸術 B	(2)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
合唱 A	(1)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
合唱 B	(1)	専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
合唱 A	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
合唱 B	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
伴奏実習	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
邦楽 1	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
邦楽 2	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
伴奏法 A	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
伴奏法 B	(1)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
キリスト教音楽概論 1	(2)	専攻実技 (弦楽器)	(3)
キリスト教音楽概論 2	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
西洋音楽通史	(4)	専攻実技 (管楽器)	(3)
日本音楽通史	(4)	専攻実技 (管楽器)	(3)
諸民族の音楽 A	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
諸民族の音楽 B	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
声楽スペシャル講義	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
器楽スペシャル講義	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
現代音楽レパートリー	(2)	専攻実技 (管楽器)	(3)
作・編曲法 A	(2)	専攻実技ソリスト育成特別レッスン	(3)
作・編曲法 B	(2)	専攻実技ソリスト育成特別レッスン	(3)
声楽指導ワークショップ A	(2)	専攻実技特別レッスン	(3)
声楽指導ワークショップ B	(2)	学外公開演奏	(1)
オルガン指導ワークショップ A	(2)	学内演奏	(4)
オルガン指導ワークショップ B	(2)	学内ソロ・コンサート	(4)
ピアノ指導ワークショップ A	(2)	国内音楽研修	(1)
ピアノ指導ワークショップ B	(2)	海外音楽研修	(2)
幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)	第 2 専攻実技 (声楽)	(3)
幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)	第 2 専攻実技 (声楽)	(3)
チャペルクワイア指導ワークショップ A	(2)	第 2 専攻実技 (声楽)	(3)
チャペルクワイア指導ワークショップ B	(2)	第 2 専攻実技 (声楽)	(3)
起業家育成ワークショップ A	(2)	第 2 専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
起業家育成ワークショップ B	(2)	第 2 専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
指揮法 A	(2)	第 2 専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
指揮法 B	(2)	第 2 専攻実技 (鍵盤楽器)	(3)
身体表現の技法	(4)	第 2 専攻実技 (弦楽器)	(3)
アーティストのための身体表現 A	(2)	第 2 専攻実技 (弦楽器)	(3)
アーティストのための身体表現 B	(2)	第 2 専攻実技 (弦楽器)	(3)

第2専攻実技(弦楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
第2専攻実技(管楽器)	(3)	第2専攻実技(管楽器)	(3)
第2専攻実技(管楽器)	(3)	卒業演奏	(6)

2011・2012・2013年度入学者

専攻実技(声楽) A	(3)	ソルフェージュ B	(1)
専攻実技(声楽) B	(3)	ソルフェージュ A	(1)
専攻実技(声楽) A	(3)	ソルフェージュ B	(1)
専攻実技(声楽) B	(3)	ソルフェージュ A	(1)
専攻実技(声楽) A	(3)	ソルフェージュ B	(1)
専攻実技(声楽) B	(3)	ソルフェージュ A	(1)
専攻実技(声楽) A	(3)	ソルフェージュ B	(1)
専攻実技(声楽) B	(3)	管弦アンサンブルA	(2)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	管弦アンサンブルB	(2)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	ブラスアンサンブルA	(1)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	ブラスアンサンブルB	(1)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	弦楽アンサンブルA	(2)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	弦楽アンサンブルB	(2)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	フルートアンサンブルA	(1)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	フルートアンサンブルB	(1)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	管楽アンサンブルA	(2)
専攻実技(弦楽器) A	(3)	管楽アンサンブルB	(2)
専攻実技(弦楽器) B	(3)	弦楽レパートリーA	(2)
専攻実技(弦楽器) A	(3)	弦楽レパートリーB	(2)
専攻実技(弦楽器) B	(3)	管楽レパートリーA	(2)
専攻実技(弦楽器) A	(3)	管楽レパートリーB	(2)
専攻実技(弦楽器) B	(3)	合唱 A	(1)
専攻実技(弦楽器) A	(3)	合唱 B	(1)
専攻実技(弦楽器) B	(3)	合唱 A	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	合唱 B	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	合唱 A	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	合唱 B	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	ピアノ・デュオA	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	ピアノ・デュオB	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	伴奏法A	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	伴奏法B	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	声楽アンサンブルA	(1)
2年次修了公開演奏	(3)	声楽アンサンブルB	(1)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ	(3)	オペラ・アンサンブルA	(1)
国内音楽研修	(1)	オペラ・アンサンブルB	(1)
海外音楽研修	(2)	室内楽1 A	(1)
卒業公開演奏	(6)	室内楽1 B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	室内楽2 A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	室内楽2 B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	室内楽3 A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	室内楽3 B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	室内楽4 A	(1)
ソルフェージュ B	(1)	室内楽4 B	(1)
ソルフェージュ A	(1)	伴奏実習	(1)
ソルフェージュ B	(1)	邦楽1	(1)
ソルフェージュ A	(1)	邦楽2	(1)

和声 A	(2)	オラトリオ研究 B	(1)
和声 B	(2)	演奏のためのからだづくり A	(1)
和声 A	(2)	演奏のためのからだづくり B	(1)
和声 B	(2)	アーティストのための身体表現 A	(2)
副科ピアノクラス A	(1)	アーティストのための身体表現 B	(2)
副科ピアノクラス B	(1)	身体表現の技法	(4)
副科声楽クラス A	(1)	演奏プロフェッショナル スタディ A	(1)
副科声楽クラス B	(1)	演奏プロフェッショナル スタディ B	(1)
西洋音楽通史	(4)	学外公開演奏	(1)
日本音楽通史	(4)	専攻実技特別レッスン	(3)
対位法 A	(2)	ピアノ指導ワークショップ A	(2)
対位法 B	(2)	ピアノ指導ワークショップ B	(2)
音楽様式研究	(2)	幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)
通奏低音	(2)	幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)
キーボードハーモニー A	(2)	チャペルクワイア指導ワークショップ A	(2)
キーボードハーモニー B	(2)	チャペルクワイア指導ワークショップ B	(2)
楽曲分析 A	(2)	作・編曲法	(2)
楽曲分析 B	(2)	編曲のテクニック	(2)
共演芸術 A	(2)	指揮法 A	(2)
共演芸術 B	(2)	指揮法 B	(2)
現代音楽レパートリー	(2)	起業家育成ワークショップ A	(2)
諸民族の音楽 A	(2)	起業家育成ワークショップ B	(2)
諸民族の音楽 B	(2)	P A 初習副科個人実技 A	(1)
声楽歌唱法	(1)	P A 初習副科個人実技 B	(1)
声楽レパートリー 1 A	(1)	P A 副科個人実技 A	(2)
声楽レパートリー 1 B	(1)	P A 副科個人実技 B	(2)
声楽レパートリー 2 A	(1)	P A 教職副科個人実技 A	(1)
声楽レパートリー 2 B	(1)	P A 教職副科個人実技 B	(1)
演奏スペシャル講義 A	(2)	P A 副科グループ実技 A	(1)
演奏スペシャル講義 B	(2)	P A 副科グループ実技 B	(1)
キリスト教オルガン音楽実践 A	(1)	P A 第 2 専攻個人実技 A	(3)
キリスト教オルガン音楽実践 B	(1)	P A 第 2 専攻個人実技 B	(3)
キリスト教オルガン音楽研究 A	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ基礎) A	(2)
キリスト教オルガン音楽研究 B	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ基礎) B	(2)
キリスト教音楽概論 1	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ応用) A	(3)
キリスト教音楽概論 2	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ応用) B	(3)
オラトリオ研究 A	(1)		

2014年度以降入学者

専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(声楽) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)
専攻実技(声楽) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) B	(3)	専攻実技(弦楽器) A	(3)
専攻実技(鍵盤楽器) A	(3)	専攻実技(弦楽器) B	(3)

専攻実技(弦楽器) A	(3)	室内楽4 B	(1)
専攻実技(弦楽器) B	(3)	ヴォーカルアンサンブルA	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	ヴォーカルアンサンブルB	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	バロックアンサンブルA	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	バロックアンサンブルB	(1)
専攻実技(管楽器) B	(3)	伴奏実習	(1)
専攻実技(管楽器) A	(3)	弦楽レパートリーA	(2)
専攻実技(管楽器) B	(3)	弦楽レパートリーB	(2)
専攻実技(管楽器) A	(3)	管楽レパートリーA	(2)
専攻実技(管楽器) B	(3)	管楽レパートリーB	(2)
導入セミナー	(1)	ピアノレパートリーA	(1)
和声 A	(2)	ピアノレパートリーB	(1)
和声 B	(2)	バロック鍵盤音楽レパートリーA	(1)
和声 A	(2)	バロック鍵盤音楽レパートリーB	(1)
和声 B	(2)	声楽レパートリー1 A	(1)
合唱 A	(1)	声楽レパートリー1 B	(1)
合唱 B	(1)	声楽レパートリー2 A	(1)
合唱 A	(1)	声楽レパートリー2 B	(1)
合唱 B	(1)	オペラ演習A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	オペラ演習B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	オラトリオ演習A	(1)
ソルフェージュ A	(1)	オラトリオ演習B	(1)
ソルフェージュ B	(1)	キリスト教オルガン音楽実践A	(1)
演奏のためのからだづくりA	(1)	キリスト教オルガン音楽実践B	(1)
演奏のためのからだづくりB	(1)	演奏アドヴァンスト A	(2)
2年次修了公開演奏	(2)	演奏アドヴァンスト B	(2)
卒業公開演奏	(4)	演奏アドヴァンスト A	(2)
室内楽の夕べ	(2)	演奏アドヴァンスト B	(2)
オーケストラ協演の夕べ	(3)	客員教授特別講義	(2)
学内公開演奏	(1)	西洋音楽通史	(4)
学外公開演奏	(1)	日本音楽通史	(4)
演奏ボランティア	(1)	国内音楽研修	(1)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ [スタンダード]	(2)	海外音楽研修	(2)
フェリスプレーヤーズ・オン・ステージ [アドヴァンスト]	(3)	諸民族の音楽A	(2)
ピアノ・デュオA	(1)	諸民族の音楽B	(2)
ピアノ・デュオB	(1)	キリスト教音楽概論1	(2)
弦楽アンサンブルA	(2)	キリスト教音楽概論2	(2)
弦楽アンサンブルB	(2)	対位法A	(2)
フルートアンサンブルA	(1)	対位法B	(2)
フルートアンサンブルB	(1)	楽曲分析A	(2)
管楽アンサンブルA	(2)	楽曲分析B	(2)
管楽アンサンブルB	(2)	共演芸術A	(2)
合唱 A	(1)	共演芸術B	(2)
合唱 B	(1)	キリスト教オルガン音楽研究A	(2)
室内楽1 A	(1)	キリスト教オルガン音楽研究B	(2)
室内楽1 B	(1)	現代音楽レパートリー	(2)
室内楽2 A	(1)	アーティストのための身体表現A	(2)
室内楽2 B	(1)	アーティストのための身体表現B	(2)
室内楽3 A	(1)	演奏スペシャル講義1 A	(2)
室内楽3 B	(1)	演奏スペシャル講義1 B	(2)
室内楽4 A	(1)	演奏スペシャル講義2 A	(2)

演奏スペシャル講義 2 B	(2)	キーボードハーモニー B	(2)
副科ピアノクラス A	(1)	邦楽 1	(1)
副科ピアノクラス B	(1)	邦楽 2	(1)
副科声楽クラス A	(1)	P A 初習副科個人実技 A	(1)
副科声楽クラス B	(1)	P A 初習副科個人実技 B	(1)
伴奏法 A	(1)	P A 副科個人実技 A	(2)
伴奏法 B	(1)	P A 副科個人実技 B	(2)
ピアノ指導ワークショップ A	(2)	P A 教職副科個人実技 A	(1)
ピアノ指導ワークショップ B	(2)	P A 教職副科個人実技 B	(1)
幼児リトミック指導ワークショップ A	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 A	(3)
幼児リトミック指導ワークショップ B	(2)	P A 第 2 専攻個人実技 B	(3)
コーラス・リーダー・ワークショップ A	(2)	P A 副科グループ実技(バレエ) A	(1)
コーラス・リーダー・ワークショップ B	(2)	P A 副科グループ実技(バレエ) B	(1)
指揮法 A	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ基礎) A	(2)
指揮法 B	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ基礎) B	(2)
作・編曲法	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ応用) A	(3)
編曲のテクニック	(2)	P A 第 2 専攻グループ実技(バレエ応用) B	(3)
キーボードハーモニー A	(2)		

F 国際交流学部国際交流学科
2007～2013 年度入学者

導入演習	(1)	比較スポーツ論	(2)
研究入門(国際交流学部での学び)	(2)	民族問題	(2)
研究入門(時事問題を学ぶ)	(2)	文化摩擦	(2)
研究入門(歴史から見る現代世界)	(2)	平和思想と運動	(2)
基礎演習	(1)	軍縮問題	(2)
人文地理学	(2)	平和構築	(2)
自然地理学	(2)	人権と世界政治	(2)
地誌	(2)	現代社会を理解するためのジェンダー理論(2)	
地球環境	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
環境保全行動論	(2)	住空間デザイン	(2)
環境と社会	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
環境と社会運動	(2)	地域ブランドの育て方	(2)
資源問題	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
人口問題	(2)	地域社会研究 B	(2)
家族計画・保健	(2)	英語文献講読(地域社会)	(2)
家族・福祉	(2)	世界史概説 A	(2)
格差社会とアイデンティティー	(2)	世界史概説 B	(2)
若者の労働環境	(2)	現代文化論 A	(2)
グリーン経済への転換 A	(2)	現代社会論 A	(2)
グリーン経済への転換 B	(2)	現代社会論 B	(2)
地域と食文化	(2)	世界宗教論	(2)
身近な環境を知る	(2)	日本史概説 A	(2)
海外環境フィールド実習	(2)	日本史概説 B	(2)
国際移民・労働移動	(2)	近代日本と国際関係	(2)
在日外国人	(2)	現代日本と国際関係	(2)
文化交流論 A	(2)	日本文化の原風景	(2)
文化交流論 B	(2)	現代社会に見る日本文化	(2)
余暇と旅行	(2)	日本の文化交流	(2)
観光文化論	(2)	日本の行政・地方自治法 A	(2)
スポーツと国際社会	(2)	日本経済論	(2)

横浜学総論	(2)	アメリカの思想・宗教 A	(2)
横浜学実習	(2)	現代アメリカ論 A	(2)
アジア近・現代史 A	(2)	現代アメリカ論 B	(2)
アジア近・現代史 B	(2)	カナダの政治と社会	(4)
朝鮮近代史・開国期	(2)	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)
朝鮮近代史・植民地期	(2)	オーストラリア地域文化研究 A	(2)
中国近代史	(2)	オーストラリア地域文化研究 B	(2)
中国現代史	(2)	オーストラリア現地実習	(2)
韓国現代史	(2)	アフリカの政治と社会	(2)
北朝鮮現代史	(2)	中東の政治と社会	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)	国際交流の歴史	(2)
アジアの政治と社会 4 (東南アジア研究 2) A	(2)	歴史からみるスペイン語圏	(2)
南アジアの経済	(2)	文化交流論	(2)
南アジアの労働	(2)	比較文化論から見た芸能	(2)
アジアの思想・宗教 1 (仏教) A	(2)	翻訳と文化	(2)
儒教と世界	(2)	歴史からみるフランス	(2)
前近代の中国思想	(2)	歴史からみるドイツ	(2)
アジアの思想・宗教 3 (イスラム)	(2)	中国社会の現状を考える	(2)
アジアの文化 1 (文学)	(2)	韓国の文化と社会	(2)
アジアの文化 2 (芸術) A	(2)	思想文化論	(2)
アジア現地実習	(2)	国際社会研究 A	(2)
ヨーロッパ近代史	(2)	国際社会研究 B	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)	Globalization Studies	(2)
ヨーロッパ政治の基礎	(2)	英語文献講読 (国際社会)	(2)
ヨーロッパ統合論	(2)	国際関係論	(2)
ヨーロッパ女性論	(2)	国際法 A	(2)
フランスの政治	(2)	国際法 B	(2)
フランス現代史	(2)	比較法	(4)
ヨーロッパ地域論	(2)	比較人権論	(2)
スペイン現代史	(2)	比較政治制度論	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 3 (ロシア・東欧研究) A	(2)	国際人権法	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会 4 (北欧研究) A	(2)	国際政治の基礎	(2)
ヨーロッパ世界の思想・宗教 1 (キリスト教)	(2)	国際政治の見方	(2)
ヨーロッパ世界の思想・宗教 2 (近・現代思潮)	(2)	国際機構と国際平和	(2)
ヨーロッパ世界の文化 2 (芸術) A	(2)	国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
ヨーロッパ世界の文化 3 (文学と言語) A	(2)	国際統合論	(2)
ヨーロッパ世界の文化 3 (文学と言語) B	(2)	環境と開発問題の平和学	(2)
ヨーロッパ現地実習	(2)	国際関係史 A	(2)
イギリス史 A	(2)	国際関係史 B	(2)
イギリス史 B	(2)	日米外交史	(2)
イギリス史 3	(2)	政治思想史 A	(2)
現代イギリス論	(2)	政治思想史 B	(2)
イギリスの政治と社会 A	(2)	国際政治経済学 A	(2)
イギリスの政治と社会 B	(2)	国際政治経済学 B	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	国際経済学	(2)
イギリス文化論総説 A	(2)	途上国と開発経済学	(2)
アメリカの文化	(2)	近代グローバル経済の発展	(2)
アメリカ史 A	(2)	現代グローバル経済の発展	(2)
アメリカ史 B	(2)	政治学概論	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	国際ビジネス論 A	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	企業と社会	(2)

社会学概論 A	(2)	戦争と平和の学説史	(2)
社会学概論 B	(2)	グローバル社会経済論	(2)
国際社会学 A	(2)	情報処理論	(2)
国際社会学 B	(2)	情報処理演習	(1)
開発援助論	(2)	国際情報流通論	(2)
国際開発の理論と実践	(2)	国際情報処理演習	(1)
国際協力論	(2)	国際交流への招待	(2)
地域の国際交流・協力	(2)	英語で学ぶ人文科学	(2)
国際交通論	(2)	市民参加の社会形成	(2)
社会統計学 A	(2)	専門演習	(1)
社会統計学 B	(2)	卒業論文	(6)

2014 年度以降入学者

導入演習	(1)	英語で学ぶグローバル問題	(2)
研究入門（国際交流学部での学び）	(2)	英語で学ぶ社会科学	(2)
研究入門（時事問題を学ぶ）	(2)	英語で学ぶ人文科学	(2)
研究入門（歴史から見る現代世界）	(2)	統計で学ぶ社会問題（基礎）	(2)
基礎演習	(1)	統計で学ぶ社会問題（応用）	(2)
国際交流への招待	(2)	ヨーロッパ現地実習	(2)
国際関係論	(2)	オーストラリア現地実習	(2)
人権保障と法	(2)	比較人権論	(2)
政治学概論	(2)	比較政治制度論	(2)
近代国際関係史	(2)	国際政治の基礎	(2)
戦後国際関係史	(2)	国際政治の見方	(2)
グローバル化と労働	(2)	国際機構と国際平和	(2)
グローバル化と生活	(2)	国際機構とグローバル・イシューズ	(2)
社会学概論 A	(2)	環境と開発問題の平和学	(2)
社会学概論 B	(2)	国際経済学	(2)
グローバル化する社会	(2)	途上国と開発経済学	(2)
グローバル経済	(2)	近代グローバル経済の発展	(2)
国際交流の歴史	(2)	現代グローバル経済の発展	(2)
世界史概説 A	(2)	開発援助論	(2)
世界史概説 B	(2)	国際開発の理論と実践	(2)
世界の宗教	(2)	戦争と平和の学説史	(2)
日本史概説 A	(2)	国際社会と法	(2)
日本史概説 B	(2)	国際経済と法	(2)
日本の文化交流	(2)	法でみる世界	(4)
日本経済の歴史	(2)	地域統合	(2)
現代の日本経済	(2)	日米関係史	(2)
東アジア・東南アジアの近・現代史 A	(2)	ヨーロッパ政治思想史	(2)
東アジア・東南アジアの近・現代史 B	(2)	グローバル・ビジネス	(2)
ヨーロッパ近代史	(2)	世界の格差と国際協力	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)	市民社会の国際協力	(2)
横浜学総論	(2)	地域の国際交流・協力	(2)
現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)	近代日本と国際関係	(2)
		現代日本と国際関係	(2)
地球環境	(2)	南アジアの経済	(2)
世界の人口問題	(2)	ヨーロッパ政治の基礎	(2)
平和思想と運動	(2)	ヨーロッパ統合論	(2)
Current Global Affairs	(2)	フランスの政治	(2)
Japan Studies	(2)	歴史からみるスペイン語圏	(2)

南アジアの労働	(2)	現代思想論	(2)
朝鮮近代史・開国期	(2)	思想文化論	(2)
朝鮮近代史・植民地期	(2)	ヨーロッパ世界の芸術	(2)
中国近代史	(2)	ヨーロッパの文学	(2)
中国現代史	(2)	ラテンアメリカの文学	(2)
韓国現代史	(2)	イギリス史1	(2)
北朝鮮現代史	(2)	イギリス史2	(2)
アジアの国際関係	(2)	イギリス史3	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)	現代イギリス論	(2)
アジア現地実習	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
ユーラシアの国際関係	(2)	イギリスの文化	(2)
北ヨーロッパの歴史	(2)	アメリカの文化	(2)
イギリスの政治と社会A	(2)	アメリカ史A	(2)
イギリスの政治と社会B	(2)	アメリカ史B	(2)
アメリカの政治と社会A	(2)	アメリカの思想・宗教	(2)
アメリカの政治と社会B	(2)	オーストラリア地域文化研究A	(2)
現代アメリカ論A	(2)	オーストラリア地域文化研究B	(2)
現代アメリカ論B	(2)	環境教育の理念と実践	(2)
カナダの政治と社会	(4)	ロシアと現代中国	(2)
アフリカを学ぶ	(2)	近現代中国思想と日本	(2)
中東を学ぶ	(2)	スポーツと国際社会	(2)
平和構築	(2)	比較スポーツ論	(2)
人権と世界政治	(2)	市民参加の社会形成	(2)
安全保障	(2)	Globalization Studies	(2)
日本政治思想史	(2)	企業と社会貢献	(2)
日本文化の原風景	(2)	国際交通ビジネス	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)	ソーシャルメディアの基礎知識	(2)
儒教と世界	(2)	ソーシャルラーニング演習	(1)
前近代の中国思想	(2)	情報が世界を変える	(2)
フランス現代史	(2)	情報とシステムのセキュリティ	(1)
ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	横浜学実習	(2)
文化交流論	(2)	地方分権と市民社会	(2)
比較文化論から見た芸能	(2)	人文地理学	(2)
翻訳と文化	(2)	自然地理学	(2)
歴史からみるフランス	(2)	地誌	(2)
歴史からみるドイツ	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
アジア共同体研究	(2)	住空間デザイン	(2)
メディア文化と社会	(2)	環境共生型ライフスタイル	(2)
若者の文化と社会	(2)	環境と社会運動	(2)
情報発信と世界	(2)	資源問題	(2)
仏教と世界	(2)	身体と生命の社会学	(2)
イスラームと世界	(2)	現代家族と福祉	(2)
中国の近現代文学	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
中国の文化と芸術	(2)	格差社会とアイデンティティー	(2)
中国社会の現状を考える	(2)	若者の労働環境	(2)
韓国の文化と社会	(2)	英語で学ぶグリーン経済と農業	(2)
ヨーロッパの文化とジェンダー	(2)	英語で学ぶグリーン経済とエネルギー	(2)
ヨーロッパ地域論	(2)	地域ブランドの育て方	(2)
スペイン現代史	(2)	地域と食文化	(2)
ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)	農環境体験実習	(2)

海外環境フィールド実習	(2)	民族問題から見た世界情勢	(2)
グローバル化する仕事と家族	(2)	移住と文化の理論	(2)
在日外国人	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
余暇と旅行	(2)	専門演習	(1)
観光文化論	(2)	卒業論文	(6)

備考 2014年度入学者に適用する専門科目は、「イギリス史1」は「イギリス史A」、「イギリス史2」は「イギリス史B」、「イギリスの文化」は「イギリス文化論総説A」、「アメリカの思想・宗教」は「アメリカの思想・宗教A」と読み替える。

別表第3（第3条関係）

教職に関する科目

（ ）内は単位数

2000・2001・2002・2003・2004年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習 1	(1)
音楽科教育法	(4)	教育実習 2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習 3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2005・2006・2007・2008・2009年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	総合演習	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習 1	(1)
音楽科教育法	(4)	教育実習 2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習 3	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2010年度入学者

教職入門	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育原理	(2)	地理歴史科教育法	(2)
教育思想	(2)	公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(2)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(2)	教育相談	(2)
国語科教育法	(2)	教育実習 1	(1)
国語科教育法	(2)	教育実習 2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習 3	(2)
音楽科教育法	(4)	教職実践演習（中・高）	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

2011年度以降入学者

教職入門	(2)	社会・地理歴史科教育法	(2)
教育原理	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育思想	(2)	社会・公民科教育法	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の研究	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法	(4)	生徒指導	(2)
英語科教育法	(4)	教育相談	(2)
国語科教育法	(4)	教育実習 1	(1)
国語科教育法	(4)	教育実習 2	(2)
音楽科教育法	(4)	教育実習 3	(2)
音楽科教育法	(4)	教職実践演習(中・高)	(2)
社会・地理歴史科教育法	(2)		

別表第4（第3条の2関係）

日本語科目及び日本事情に関する科目

（ ）内は単位数

（外国人留学生対象）

2005年度以降入学者

留学生日本語	(1)	日本事情 A	(2)
留学生日本語	(1)	日本事情 B	(2)

別表第5（第18条関係）

卒業に必要な単位

A 文学部

2004～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英文学科	日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	

専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と する。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2015年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基 礎教養科目・総合課題科目から 各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	36	36	
合計	区分の規定に 従って取得した 単位数と共通科 目、専門科目及 び教職に関する 科目を通じて自 由に選択して取 得した単位数の 合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科 目のうち、専門科目は、所属学部 及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

B 音楽学部

2008・2009・2010年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業演奏	6	6	
	選択必修科目	34	42	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2011・2012・2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	6	
	2年次修了公開演奏		3	
	選択必修科目	34	46	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	

合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。
----	---	-----	-----	---

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

C 国際交流学部

2006・2007・2008年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通科目	基礎教養科目	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	
	語 学 科 目	10又は22	
専門科目	卒業論文	6	卒業論文(6単位)に代えて、指導教員の指定する専門科目(6単位)を修得することができる。
	必修科目	8	
	選択必修科目	20	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2009年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。 語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	
	語 学 科 目	10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

別表第6（第35条関係）

入学検定料

文 学 部 国際交流学部	35,000円
音 楽 学 部 音楽芸術学科 演 奏 学 科	35,000円 45,000円
大学入試センター 試験利用入学試験 （全学部）	15,000円

備考 入学試験を一次選考と二次選考に分けて実施する場合の入学検定料は、次のとおりとする。

一次選考料 10,000円

二次選考料 表中の入学検定料と一次選考料の差額

別表第7（第36条及び第36条の2関係）

入学金、授業料等学納金

A 文学部、国際交流学部 2006年度以前入学者

		前期	後期	備考	
入 学 金		380,000円	————	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入	
	施設設備費	入学年度	300,000円	————	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
		入学翌年度以降	200,000円	————	
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		1,042,500円			
入学年度納入金総額		1,405,000円			
入学翌年度以降納入金総額		925,000円			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする
- 2 2005年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技（声楽・器楽）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 2005年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技（バレエ）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。

B 文学部、国際交流学部 2007年度入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	————	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施設設備費	122,500円	122,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		785,000円		
入学年度納入金総額		1,270,000円		
入学翌年度以降納入金総額		970,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 音楽学部開講科目「第2副科実技（声楽・器楽）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 音楽学部開講科目「第2副科実技（バレエ）A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

C 文学部、国際交流学部 2008・2009・2010年度入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間、2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円		
入学年度納入金総額		1,310,000円		
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 2008年度以降入学者のうち、音楽学部開講科目「第2副科実技(声楽・器楽)A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に100,000円を加えた額とする。
- 3 音楽学部開講科目「第2副科実技(バレエ)A・B」を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料に30,000円を加えた額とする。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

D 文学部、国際交流学部 2011年度以降入学者

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	———	入学時のみ納入
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	142,500円	142,500円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。2年次編入学者は3年間納入。
	実 習 費	7,500円	7,500円	在学中納入
入学時納入金総額		805,000円		
入学年度納入金総額		1,310,000円		
入学翌年度以降納入金総額		1,010,000円		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき362,500円とする。
- 2 音楽学部開講の実技科目(PA科目)を履修する者の当該学期の授業料は、納入すべき授業料にPA科目実技料を加えた額とする。なおPA科目実技料は、音楽学部授業料等学納金に定める。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

E 音楽学部 2008・2009・2010年度入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	355,000円	355,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1楽器等 につき 100,000円	1楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技(声楽・ 器楽・作曲)A・B」を 履修する当該学期のみ納 入
		C：第2副科 実技料 (履修者のみ)	30,000円	30,000円	「第2副科実技(バレエ) A・B」を履修する当該 学期のみ納入
	施 設 設 備 費 (年額)	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年 次編入学者は2年間納入。	
	実 習 費 (年額)	27,500円	27,500円	在学中納入	
入学時納入金総額		903,300円			
入学年度納入金総額		1,506,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円(基本額) + 授業料B + 授業料C			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき382,500円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A(基本)に授業料B及びCを合わせた額とする。
- 3 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

2 演奏学科

		前期	後期	備考	
入 学 金		300,000円	—	入学時のみ納入	
授 業 料 等 学 納 金	授 業 料 (年額)	A：基本授業料	590,000円	590,000円	在学中納入
		B：第2副科 実技料 (履修者のみ)	1楽器等 につき 100,000円	1楽器等 につき 100,000円	「第2副科実技(声楽・ 器楽・作曲)A・B」を 履修する当該学期のみ納 入
		C：第2副科 実技料 (履修者のみ)	30,000円	30,000円	「第2副科実技(バレエ) A・B」を履修する当該 学期のみ納入
		D：第2専攻 実技料 (履修者のみ)	1楽器等 につき 150,000円	1楽器等 につき 150,000円	「第2専攻実技 ~ 」 を履修する当該学期のみ 納入
	施 設 設 備 費 (年額)	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年 次編入学者は2年間納入。	
実 習 費 (年額)	55,000円	55,000円	在学中納入		
入学時納入金総額		1,165,800円			
入学年度納入金総額		2,031,500円			
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500円(基本額) + 授業料B + 授業料C + 授業料D			

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、授業料A(基本)に授業料B、C及びDを合わせた額とする。
- 3 演奏学科授業科目「専攻実技 ~ 」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入学する年次の額を適用する。

F 音楽学部 2011年度以降入学者

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	—————	入学時納入金のみ納入
授業料等学納金	授 業 料	355,000円	355,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
	実 習 費	27,500円	27,500円	在学中納入
入学時納入金総額		903,300円(基本額) + P A科目実技料		
入学年度納入金総額		1,506,500円(基本額) + P A科目実技料		
入学翌年度以降納入金総額		1,206,500円(基本額) + P A科目実技料		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入 学 金		300,000円	—————	入学時納入金のみ納入
授業料等学納金	授 業 料	590,000円	590,000円	在学中納入
	施 設 設 備 費	220,800円	220,700円	4年間納入。ただし、3年次編入学者は2年間納入。
	実 習 費	55,000円	55,000円	在学中納入
入学時納入金総額		1,165,800円(基本額) + P A科目実技料		
入学年度納入金総額		2,031,500円(基本額) + P A科目実技料		
入学翌年度以降納入金総額		1,731,500円(基本額) + P A科目実技料		

備考

- 1 修業年限を超えて在学する者の納入額は、在学1学期期間につき音楽芸術学科382,500円、演奏学科645,000円とする。
- 2 授業料は、実技科目の履修に応じ、納入すべき授業料(基本額)に次のP A科目実技料を加えた額とする。

P A科目実技料 (1単位につき)

個人実技 [1楽器等あたり]	50,000円
グループ実技	30,000円

- 3 演奏学科授業科目「専攻実技 A・B ~ A・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。
- 4 編入学者の入学金及び授業料等学納金は編入する年次の額を適用する。

別表第8（第43条関係）
科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業者は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき）	
講義科目	5,000円
実習又は演習科目	10,000円
音楽学部実技科目	30,000円
単位認定料（1単位につき）	
講義科目	7,500円
実習又は演習科目	15,000円
音楽学部実技科目	20,000円

フェリス女学院大学学則の一部改正

改正条項及び事由

国際交流学部のカリキュラム改編（2014年度以降入学者よりプログラム制を導入）に伴い、3年次編入学定員及び1年次入学定員を変更する。

（改正後の第2条の3、第25条の2及び第25条の3関係）

改正日 2014年10月23日（理事会承認日）
施行日 2016年4月1日
適用 2016年度入学試験から適用する。

フェリス女学院大学学則改正新旧比較対照表

新					旧					
(略)					(略)					
(学生収容定員)					(学生収容定員)					
第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。					第2条の3 学生収容定員は、次のとおりとする。					
学部	学科	入学定員	2年次編入学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名	-	360名	文学部	英語英米文学科	90名	-	-	360名
	日本語日本文学科	90名	-	360名		日本語日本文学科	90名	-	-	360名
	コミュニケーション学科	90名	-	360名		コミュニケーション学科	90名	-	-	360名
	計	270名	-	1,080名		計	270名	-	-	1,080名
音楽学部	音楽芸術学科	45名	-	180名	音楽学部	音楽芸術学科	45名	-	-	180名
	演奏学科	30名	-	120名		演奏学科	30名	-	-	120名
	計	75名	-	300名		計	75名	-	-	300名
国際交流学部	国際交流学科	197名	4名	800名	国際交流学部	国際交流学科	194名	4名	6名	800名
合計		542名	4名	2,180名	合計		539名	4名	6名	2,180名
(略)					(略)					
(2年次編入学)					(2年次編入学)					
第25条の2 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への2年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可する。					第25条の2 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への2年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可することができる。					
(略)					(略)					
(3年次編入学)					(3年次編入学)					
第25条の3 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への3年次編入学を願い出た者については、 <u>欠員のある場合に限り</u> 、選考の上、学長がこ					第25条の3 次の各号のいずれかに該当する者で、本学への3年次編入学を願い出た者については、選考の上、学長がこれを許可する <u>ことができる</u> 。					

れを許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第25条に規定する者に限る。）
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

（削除）

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（略）

附 則〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第25条に規定する者に限る。）
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

2 第2条の3に規定するもののほか、本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可することができる。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

（略）